

思いを  
聞く!

# 社長さん 訪問記

vol.20

## 細かく深く掘り下げて、 常に経営改善を 続けていく

株式会社 新星コーポレーション



代表取締役  
長嶺 英生 さん

### 経営指針を従業員に徹底させてきた

子どもの頃は長屋住まいで、仕事場も一緒でした。印刷資材が身近にあり、創業者の父親の仕事ぶりをいつも見ていたので、「大人になったら継ぐんだらうな」と思っていましたね。当時は高度経済成長期の波に乗り、印刷業界も順調に伸びていきました。

私が入社した1980年代後半はパソコンが普及し、印刷技術がデジタル化されていった時代。変化に取り残されないよう、MacMasterの認証代理店になったり、海外からソフトを導入したりするなど、チャレンジを続けてきました。

私が代表になってからは、「千切り経営・井戸掘り経営・家計簿経営」を指針としてきました。どんなに大きな課題であっても、千切りのように細かくすれば対処できる、井戸掘りのように深く追求していけば新たなアイデアを創出できる、そして家計簿のように収入に見合うお金のやり繰りをする、という意味です。経営指針として壁に掲示し、従業員にも言葉で伝えながら浸透させてきたので、社内の共通認識となっています。

### コロナ禍に対応する新製品を導入

当社は売って終わりのビジネスではなく、技術サポートまでお客様の課題を解決するソリューションビジネスを基本としています。お客様のニーズをつかみ、悩みを聞く。それを元に提案し続けることで、



昭和35年生まれ。練馬区で生まれ育ち、大学で経営や画像工学などを学ぶ。27歳で家業の株式会社 新星コーポレーションに入社。平成19年、代表取締役就任。大学時代はグライダー部で、現在も後輩の指導を行っている。

「新星に頼めば大丈夫」と信頼され、8割がリピーターとなってくださっています。

コロナの影響でイベントなどが中止になり、チラシやポスターに関わる印刷業界も大きな打撃を受けました。これを何とかしたいと思っていたところ、「抗菌・抗ウイルス・抗真菌」の3つの機能を持ったドイツ製Lock3というニスを知り、いち早く採用。本やパッケージなどに加工すれば、安全安心の商品になるので、取引先に導入を提案、今年2月の日本印刷技術協会(JAGAT)の展示会(page2021)でも紹介する予定です。商売は結局は人と人、展示会での新たな出会いも大切にしています!

世の中の環境はいつの時代も変化していくもの。その流れをいち早くキャッチして、自社の事業にスピード感を持って真摯に実行していくことが、生き残る術だと考えています。

### 時代の変化を読み、果敢にチャレンジして いく長嶺さんのブレない経営美学を見た!



#### 株式会社 新星コーポレーション

昭和44年創業の印刷・サイン関係の資機材の専門商社。大型機材から消耗品まで扱い、平成29年からは自社ブランドも展開。本社の向かい側にはショールームがある。従業員数32名。

練馬区高野台2-16-17 ☎03-5372-1321